



TITLE:

英國戦後ノ労働問題

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

CITATION:

河田, 嗣郎. 英國戦後ノ労働問題. 經濟論叢 1918, 6(1): 145-152

ISSUE DATE:

1918-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127310>

RIGHT:

英國戰後ノ勞働問題

河田 嗣 郎

左記 Sidney Webb, The Restoration of Trade Union Condition, London 1917 ナ抄譯シタモノデアル。戰後ニ於ケル英國ノ勞働問題トシテ差當リ先ヅ解決セラレザル可ラザルモノハ、戰前ニ於ケル勞働狀態ヲ戰後如何ニシテ恢復ス可キカ、又之ヲ改造スルトスレバ如何ニ改造ス可キカト云フ問題デアル。而シテソハ實ニ職工組合ニ依リテ造リ成サレタル勞働狀態ノ恢復ヲ如何ニス可キカト云フコトニナルノデアアル。本書ハ此ノ大問題ヲ捕ヘテ其ノ意義ト解決ノ方法トヲ論ジタルモノ、時下頗ル有益ナル文字タルヲ失ハヌ。

一 今ヤ國際競争ノ漸次激烈ヲ加ヘツツアルノ時ニ當リテ、英國ノ産業ガ戰後其ノ正常狀態ニ復歸スルヲ得ルノ難易ト遲速トハ、英國ニ對シテ甚大ナル利害ノ別ヲ生ゼザルヲ得ナイ。洵ニ

戰後ノ英國ニ取リテハ兵士ノ除隊問題ニ次デ緊急ナル問題ハ職工組合ニ依リテ造リ成サレタル戰前ノ労働狀態ヲ恢復スルト云フ問題デアル。戰ノ未ダ全ク終ラザルニ先チテ此ノ大問題ガ企業家側ト職工組合側ト政府ト何レモニ依リテ講究セラレ又何レモ之ヲ容認スル方法ニ於テ解決セラルルニアラズンバ、後日必ズヤ大イナル産業界ノ困難ヲ齎スデアラウ。按ズルニ戰前英國ノ産業狀態ハ多年ノ間ニ或ハ明文のニ或ハ不文のニ編成サレタル規律慣習ノ網ニ依テ繋ガレタルモノニシテ、其ノ網狀の律序ハ啻ニ勞賃ノ標準ヤ労働時間ノ制限ヤノ之ニ由リテ定メラレタルノミナラズ、職工組合所屬以外ノ労働者ノ使僱及ビ機械ノ使用ニ關スル件、少年少女ノ使役ニ關スル件等其他一般ニ労働ニ關スル諸般ノ事項ハ一トシテ之ニ依リテ規定サレザルナキノ有様デアツタ。而シテ此狀態ハ獨リ労働者ニ取リテ有利タリシノミナラズ、企業家ニ取リテモ不利ナラザルモノトセラレ、一般的ニ英國ノ産業界ハ之ヲ認メ、之ニ據リテ立チ、之ニ則リテ活

動シタ次第デアル。

然ルニ突然戰端ハ開カレ事狀ハ一變スルコトトナツタ。労働者ノ多數ガ組合員タルト組合員タラザルトニ論ナク出征軍ニ徴セラレタルハ勿論ノコト、武器ノ供給ト兵士ノ給養トノ爲メニスル軍需品ノ大々の需要ハ急速ニ且ツ十分多量ニ之ヲ生産スルノ必要急切ナルノ餘リ、其ノ生産ノ爲メニハ從來全ク異種ノ貨物ノ生産ニ從事シタル工場モ俄カニ軍需品ノ製造ニ向ケラレ、又労働雇傭ニ關シテハ從來多年ノ間ニ出來上リタル規律ノ網ハ用捨ナク切斷サルルコトトナツタ。即チ軍需ノ必要ニ應ズル緊急狀態ハ労働ニ關スル從來ノ制度ヲ破リ組織ヲ排シテ、或ハ労働時間ノ延長ヲ行ヒ、或ハ非組合労働者ヲ自由ニ雇傭シ、又少年少女ノ使役ヲ廣メ、又出來高拂法其他ニ依リテ勞賃標準ノ引下ゲヲ行ヒ、其他種々ノ方面ニ於テ労働狀態ノ既成制度ハ用捨ナク打破ラレテシマツタノデアル。而シテ此ノ事實ハ多年幾多ノ犠牲ヲ拂ヒ經營努力ノ結果漸クニ戰前ノ狀態ヲ造リ上グルヲ得タル組合労働

者ニ取リテハ、實ニ由々敷大事件デアツテ、之ニ依リテ被ル彼等ノ苦痛ト損害トハ洵ニ容易ナラザルモノデアアル。然レドモ英國ノ組合勞動者ハ時局ノ必要避ク可ラザルモノアルヲ知ルガ故ニ敢テ進ムデ此ノ苦痛ヲ忍ビ、之ガ爲メニ生ズル多大ナル犠牲モ國ノ爲メ喜ンデ甘受スルコトトシタ。即チ彼等ハ此ノ國家危急ノ秋ニ當リテ、唯タ自己組合若クハ自己階級ノ利害ノ爲メニ、軍事補給ノ遅延ヲ來サシメ、戦局ノ不利ヲ生ゼシムルガ如キ事ヲ爲スノ正當ナラザルヲ思ヒ、平素之ガ爲メニ戦ヒ來リタル勞動規律上ノ既得權モ愛國ノ至誠ヨリシテ之ヲ犠牲ニシテ顧ル所ナカツタノデアアル。

二 組合勞動者ノ此ノ犠牲的精神ニ對シテハ、國家ハ頗ル之ヲ諒トシ、國家ガ組合勞動者ニ對シテ斯カル犠牲ヲ要望スルハ唯之レ戦局ノ必要ノ爲メタルニ外ナラザレバ、此ノ勞動上ノ既成制度ノ破壊ハ唯之レ戦時中一時之ヲ中止スルモノタルニ過ギズ、サレバ之レタダ戦時狀態ノ繼續スル限りノ問題タルニ外ナラザルコトデアアル。

カラ、戦ノ終ルト共ニ狀態ハ全ク戦前ノ狀態ニ復歸セシメラル可キモノナリトノ意ヲ表白スルニ至ツタ。即チ英國ノ政府當局者ハ再三此ノ勞動ニ關スル戦前狀態ノ完全ナル恢復ト云フコトヲ聲明シ、然カモ其ノ聲明ハ法律ニ依リテ之行ヒ、又唯ダ之ヲ個々ノ職工組合ニ對シテ爲セルニ止ラズ、汎ク之ヲ職工組合運動全體ニ對シテ爲シ、戦後ハ必ズヤ完全ニ戦前ノ狀態ニ復歸セシム可キコトヲ保障シタノデアアル。而シテ其ノ保障タルヤ絶對的ノモノ、無條件ノモノデ、雇主側ニ於テ之ヲ實行セザル場合ニハ其ハ法律違反トシテ罰金ヲ課セラルルモノトマデセラレタ。尙又此ノ保障ハ當局者トシテノろいど、ちようぢ氏其他ニ依リテモ度々聲言セラレタノデアアル。

此ノ國家的保障ノ下ニ於テ英國ノ産業ハ開戦以來殆ンド面白ヲ一新スル迄ニ變革セラレ、勞動時間、勞賃高及ビ其ノ支拂方法、雇傭及ビ解雇、勞動者ト機械トノ關係、勞動者ノ年齢及ビ性等ニ關シテハ、僅カバカリノ月日中ニ全ク其ノ

- 1) Munitions of War Act 1915. Munitions of War Amendment Act 1916.
- 2) House of Commons, June 23, 1915; Trade Union Congress on September 9, 1915

狀態ノ一新セラレ、其ノ變革タルヤ實ニ一七八〇—一八二五年ノ産業革命以來英國ノ産業界ノ未ダ曾テ見タルコトナキ迄著大ナルモノデアツタ。然カモ又其ノ著大ナル變革ハ頗ル圓滑ニ又急速ニ行ハレタ。然シ此ノ變革ノ行ハレタコトハ決シテ職工組合主義ノ根本ニ觸レ其ノ死命ニ關スルガ如キモノデハ勿論無イ。職工組合主義ハ開戰以來依然トシテ其ノ地歩ニ動搖ヲ感ゼザルノミナラズ、其ノ組合員數及ビ基金モ却テ少カラズ増加シタノデアアル。變革ノ行ハレタルハ、從來組合勞働者ヲノミ使傭シタル者ガ組合以外ノ勞働者ヲ併セ雇傭スルニ至リタルコト、(二)特ニ少年及ビ婦女勞働者ヲ多ク使用スルニ至リタルコト、(三)新タナル機械ヲ使用シテ勞働ニ代フルニ至リタルコト、(四)時間拂勞賃ニ代フルニ出來高拂勞賃ヲ以テシ又バーナズ制ノ廣ク行ハルルニ至リタルコト、(五)勞働時間ヲ延長シ然カモ其ノ延長ニ對スル相當ナル勞賃増加ノ行ハレザルコト、其他之ニ類スル種類ノ事項デアアル。而シテ凡テ此等ノ變革ハ戰局ノ必要ニ應ズルガ

爲メニ生産ノ速度ヲ増スノ目的ヲ以テ行ハレタルモノデアツテ、其ノ目的ハ又實際ニ到達セラレ、此ノ變革ニ因リテ生産ノ著シク増加シタル一事ニ至リテハ、誰シモ之ヲ否認スルコトガ出來ス。加之之ガ爲メニ從來ノ工場ノ改造セラレ、新タナル有効ノ機械ノ使用セラルルニ至リ、又多數ノ不熟練勞働者ハ今ヤ既ニ能ク此ノ新事狀ノ下ニ教練サレテ新機械ニ對シ立派ナル熟練勞働者トナリ、彼等ノ使役ハ雇主ニ取リテ必要欠グ可ラザルノミナラズ、新生産ヲ繼續スルガ爲メニハ國家的ニモ必要ノモノ又有利ノコトトナツテ來タノデアアル。特ニ現今國際間ニ於ケル經濟競爭ノ激甚ヲ極メツツアル時ニ當リテハ、國家ハ斯ノ如クニシテ得ラレタル生産力ノ増加ヲ維持スルコトニ關シテハ、大イナル利害ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアアル。

斯カル事情ナルガ故ニ國家ガ職工組合ニ對シテ戰終ラバ必ズヤ完全ニ戰前ノ狀態ヲ恢復ス可シト誓約セルコトハ、ソガ果シテ賢明ノ政策タリシヤ否ヤノ疑ハルルノミナラズ、其ノ果シテ能

ク實行サレ得可キモノナルヤ否ヤノ疑ハレザルヲ得ナイノデアル。雇主ハ又何ニシテ此ノ約束ヲ實行シ得可キカラ知ラズ、否彼等ノ大多數ハ其ノ到底實行シ得可カラザルヲ言ヒ、又之ヲ實行スルノ義務アルヲモ忘却シツツアルノ有様デアル。茲ニ於テカ職工組合ノ間ニハ此ノ戰前狀態ノ恢復ニ關シテ今ヤ少カラザル疑惑ト不安ノ生ジツツアルヲ掩フコトガ出來ス。

三 政府ガ之ヲ誓約シタルガ如ク戰後ニ於テ完全ニ戰前ノ狀態ヲ恢復スルコトハ事實不可能ナリトスレバ、或ハ政府ハ已ムコトヲ得ズシテ示談的ニ事件ノ落着ヲ附セントスルノ態度ニ出ヅルカモ知レヌ。即チ企業家側ト職工組合側トヨリ各々代表者ヲ選出セシメテ、兩者ノ希望條件ヲ確メ、然カモ事狀ノ變化ヲ訴ヘテ其ノ變化セラル事狀ノ下ニ於テ能ク兩者ノ要求ノ一致シ得可キ點ヲ見出し、之ヲ以テ和解條件トナシテ以テ事件ノ落着ヲ附ケ、表面上ハ其ノ誓約ヲ果シ得タルコトトスルノ態度ニ出ヅルカモ知レヌ。然ラザレバ即チ問題ヲ然カク一般的ニ取扱ハズ、

各種産業ソレゾレノ間ニ於テ企業家側ト労働者ノ組合トガ個別的ニ談判ヲナシテ以テ和解のナル新協約ヲ締結スルコトヲ從憑スルコトトナルデアラウ。

然レドモ斯クノ如キコトむづろないすニ由ル申譯的ナル解決方法ハ、唯之レ一時ヲ糊塗スル繻縫策タルニ過ギヌ。其結果ハ必ズヤ組合労働者多數ノ不滿ヲ買フコトトナルノミナラズ、組合外労働者ヲモ満足セシムル能ハズ、産業界ハ之ニ由リテ一般的ナル平和ヲ得ルノ望ナクシテ、不滿足ト不安トハ各方面ニ溢レ、同盟罷工ハ各所ニ起リテ罷工ニ繼グニ罷工ヲ以テシ、爲メニ被ル英國全體ノ損失ハ實ニ計リ知ル可ラザルモノタル可キヤ明カデアル。蓋シ多年經營慘澹ノ結果造リ上ゲラレタル職工組合の規律ノ綱狀態ハ破レタル儘ニシテ補修セラルルナク、然カモ之ニ代ル可キ新タナル根本的規律ノ定メラレズシテ、唯ダ繻縫策ノ行ハルルニ過ギズ、斯クテ英國ノ労働市場ノ秩序ハ紊レ、其ノ既成制度ハ破綻スルコトトナルカラデアル。

四 何レニシテモ戰局ノ爲メニ英國ノ經濟界特ニ其ノ産業組織ハ一種ノ革命ヲ經テ事情ハ一變シタルデアルカラ、戰前ニ存シタル狀態ヲ其儘ニ今一度恢復スルト云フガ如キハ、事實不可能ノ事業デアル。而シテ之ヲ恢復スルト云フ名ノ下ニ示談的ナル姑息策ヲ行フコトハ、右述ノ如キ危險ヲ伴フヲ免レ難イ。然ラバ即チ戰後ノ問題トシテ必要トセラルルモノハ、原狀ノ恢復デモナグレバ、姑息ナル綱絏策デモナイ。要求セラクルモノハ新ニ造リ成サレタル事情ニ根本的ニ適合シ、眞實ニ勞働者等ノ要望シ又産業ノ進歩發達ノ爲メニ企業家ノ活動ヲ許容スルガ如キ基礎ノ上ニ築カル可キ新ナル根本的決定デアル。然シ乍ラ斯カル根本的ナル新決定ヲ爲スハ決シテ容易ナル事業タラザルヤ勿論デアル。然ラバ勞働者ガ眞實ニ要望スル所トハ如何ナルモノナリヤト問ハバ、ソハ即チ彼等ガ多年ノ間之ガ排除ノ爲メニ戰ヒ來リタル而シテ其爲ニ即チ組合主義ヲ固執スルモノタル多クノ不利益事ヲ、今後モ依然トシテ排除シ、又舊ニモ増シテ能ク排除シ得ムト欲スルコト之デアル。而シテ其ノ多

クノ不利益事トハ、先ツ(一)失業ノ危險及ビ(二)勞賃引下ノ危險デアツテ、此等ノ危險ノ再ビ力ヲ増シ來ル可キヲ恐ルルガ故ニ勞働者ハ婦女子ヤ少年勞働者ヤノ數多キ使役ニ反對シ、又新機械ノ使用ニ對シテ杞憂ヲ抱クモノデアル。次ニ(三)勞働者ガ企業家ニ對シテ個人トシテ甚ダ力ナキモノタルコトモ彼等ガ組合主義ヲ固執スル所以デアルガ、尙ホ(四)勞働者ハ啻ニ從來ノ地位ヲ守ルヲ以テハ満足スル能ハズ將來ノ向上發展ヲ希フコト切ナルト同時ニ、(五)彼等ハ又啻ニ物質的利益ヲ得ルノミナラズ平安ト慰藉ノ餘裕ヲ欲スルモノデアル。而シテ最後ニ(六)彼等ハ其勞働ヲ賣リ戰ニ就クト就カザルトニ關シ飽迄選擇ノ自由ヲ保持セント欲スルモノデアツテ、同盟罷工ヲ行フノ權利ハ飽迄之ヲ留保セント期スルモノデアル。

然ルニ企業家等ハ之ニ反シテ(一)其ノ使用スル勞働ノ生産能力ヲ減殺セシムルガ如キ事項ニ同意スルヲ肯ンゼズ、(二)又生産費ヲ減ジ生産率ヲ増スガ如キ新機械ノ使用ヲ妨グルコトニ同意スルヲ肯ゼズ、從テ又(三)生産能率ヲ進メ生産費ヲ減

ズルニ足ル經營方法ヲ妨グルモノヲ容ルル能ハ
ストスル。尙ホ彼等ハ(四)其ノ欲スル所ニ從ヒ熱
練ノ有無及ビ其ノ程度、年齡、男女ノ性ノ區別
ニ頓着ナク勞働者ヲ雇入ルルヲ妨グルルヲ好
マザルト同時ニ、(五)其ノ契約ノ締結及ビ解除ニ
就キテハ選擇ノ自由ヲ留保セント欲シ、工場閉
鎖ヲ行フノ權利ハ飽迄之ヲ保持セント欲スルモ
ノデアル。

此ノ企業家ト勞働者トノ兩方面ニ於ケル多少ジ
ツ矛盾セル希望ヲ容レテ兩者ノ間ニ調和アル決
定ヲ爲サントスルハ、實ニ容易ナラザル事業ト
謂ハナケレバナラヌ。ケレドモ能ク之ヲ調和ス
可キ方策ハ決シテ之レ無キニアラズ、吾人ハ以
下其ノ項目ダケヲ指摘シテ見タイト思フ。

(一)失職防止 之ハ組合勞働者ノ最モ恐ルル所デ
彼等ハ戰時ノ産業變革ノ爲メニ熟練ナル自分達
ガ職ヲ失ヒテ、其代リニ女ヤ子供ガ其職ヲ行フ
ガ如キ狀態ヲ默視スルコトハ出來ヌノデアルカ
ラ、國家トシテハこれらノ流行ヲ豫防スルト同
ジ意味ニ於テ失職ヲ豫防セナケレバナラヌ。而
シテ之ヲ爲スガ爲メニハ多クノ國家の事業ヲ起

シ、積極的ニ彼等ニ職ヲ與フルノ必要ガアル。
尤モ唯單ニ職ヲ與ヘンガ爲メニ業ヲ起スハ不可
ナレドモ、決シテ其恐ナクシテ必要ナル事業ヲ
起スノ餘地ハ現ニ十分ニ存在スルノデアル。而
シテ此事ハ獨リ勞働者ニ取リテ有利ナルノミナ
ラズ、企業家ニ取リテモ等シク有利ナルヤ勿論
デアル。

(二)勞賃標準ノ決定 生活程度ハ上進セルニ勞賃
ハ低下セシメラルルノ理由ナケレバ、勞働者ハ
戰前ノ狀況ニ比シテ決シテ劣ラザル程度ノ勞賃
ハ之ヲ得ルヲ希望シ又之ヲ要求スルハ當然ノ次
第デアル。之ハ謂ハバ彼等ノ既得權デアル。サレ
バ戰後ノ問題トシテハ各産業部類ニ於テ雇主側
ト勞働者組合側トヨリ委員ヲ選出セシメテ最低
勞賃ヲ決定シ、然カモ之ヲ集合契約タラシムル
ヲ必要トスル。而シテ出來高拂ニ對シテモ同主
旨ノ標準決定ヲ爲スノ要アルヤ論ヲ俟タヌ。

(三)工場及ビ産業ニ於ケル憲法制定 從來職工組
合ノ要求シ努力セル所ハ、工場及ビ産業ニ於ケ
ル法の規律ノ完成ト云フコトニ在ツタ。而シテ
雇傭關係ハ其ノ各方面ニ於テ此ノ法の規律ニ

リテ整ヘラル可キモノトシタノデアル。然ルニ今ヤ戦局ニ由ル變革ノ爲メニ企業家ハ從來ノ此種ノ束縛ヲ離脱シ、自由手腕ヲ振ヒ得ルニ至ツタガ如クニ考ントスルガ如クデアルケレドモ、之ハ甚ダ危險デアアル。今後ハ從前ヨリモ更ニ嚴正ニ此ノ規約ヲ密ニシ、労働者ノ利益ヲ代表スル者ト雇主トノ間ニ於テ個々ノ工場及ビ個々ノ産業ニ關スル憲法的規約ヲ造リ、之ニヨリテ雇主及ビ労働者ノ權利義務ヲ明確ニ規定セナケレバナラス。蓋シ然カスルニアラザレバ職工組合主義ハ其ノ命脈ヲ維持シ得ルモノデナイ。

(四)生産率ノ無制限 右等ノ規定ヲ爲シ勞賃率ヲ定ムル如キコトハ生産者ニ取リテ其ノ生産率ヲ減縮セシムルノ恐アルカニ考ヘラルル所ナキニアラザレドモ、決シテ其ノ心配ハナイ。労働ノ恒定的トナリ又労働者ガ安ンジテ其業ニ任ジ、又新機械ノ使用ヤ新經營方法ニ關シ何等ノ制限ノ設ケラレザルガ爲メニ、生産能率ハ増加シコソスレ、決シテ減少スル恐ハナイ。而シテ此事ハ獨リ企業家ニ取リテ不利ナラザルノミナラズ、國家トシテモ甚ダ有利ナル結果ヲ得ルコト

トナル。

(五)労働者各個人ノ自由 苟モ無職ノ危險ノ防止セラレ且ツ勞賃制ノ決定セラレ、然カモ尙ホ工場規定ノ造ラルルカラニハ、職工組合ハ労働市場ヲ獨占スルノ必要ハナク、之ヲ獨占セズトモ其ノ利益ノ侵害サルル恐ハナイ。サレバ新決定ノ下ニ於テハ企業家ハ労働者ヲ組合ニ屬スルト否トニ論ナク唯ダ雇レント欲スルガ儘ニ之ヲ雇入ルルヲ得ルコトトナリ、其ノ結果企業家モ少カラザル便宜ヲ得ルト同時ニ、労働者モ亦便宜ト自由ヲ得ル。特ニ職工組合ニ屬セザル労働者ハ大イナル利益ニ浴スルヲ得ルコトトナリ、婦女子ヤ少年労働者ノ如キモ其ノ得タル職ヲ失フノ恐ナク、又新ニ職ニ就クヲ得ルノ機會多ク、一般的ニ凡テノ労働者ガ大イナル自由ト利便ヲ得ルコトトナル。

右ニ掲グル五ケノ項目ハ戦局ニ因リテ造ラレタル新事情ニ對スル根本的労働決定ノ基礎條件トセラル可キモノデアツテ、此等ノ點ニ關シ新タナル而シテ有効ナル決定ヲ得バ、英國戰後ノ労働問題ハ平和ニ解決セララルデアラウ。